自動閉鎖式空気管頭に関する事項

改正要領

船用材料・機器等の承認及び認定要領

改正事項

自動閉鎖式空気管頭に関する事項

改正理由

IACS は、甲板上に配置される自動閉鎖式空気管頭の構造要件等を IACS 統一規則 P3 として規定しており、本会も同規定を既に関連規則に取り入れている。

同統一規則においては、空気管頭内部の浸食対策として、管頭の内室及び外室の厚さを 6mm 以上とする旨規定している。しかしながら、当該要件の適用範囲に、空気管頭の側面に取り付けられるカバーについても含まれるか不明確となっていたことから、同要件の適用範囲を明確化すべく見直しを行っていた。

その結果、側面のカバーが、海水の浸入防止等の自動閉鎖式空気管頭の機能に関わる部品である場合にあっては、上記要件の適用範囲に含む旨明確化し、IACS 統一規則 P3(Rev.4)として 2016 年 1 月に採択した。

このため、IACS 統一規則 P3(Rev.4)に基づき、関連規定を改めた。

改正内容

自動閉鎖式空気管頭の側面に取り付けられるカバーについて、当該カバーが自動閉鎖式空気管頭の機能保持のために必要不可欠な部品とみなされる場合、その厚さを 6mm 以上とする旨規定した。

改正条項

船用材料・機器等の承認及び認定要領 第 6 編 2.4.2